

授業科目名	ビジネス実践演習2 Practical Business Exercises2	教員名	桑原 重雄 (実務経験のある教員)
		Eメールアドレス	skuwabara@miu.ac.jp
授業形態	講義	オフィスアワー	授業終了後随時 (327研究室)
科目番号	IBM325	担当形態	オムニバス
単位数	2	配当年次	3年/後期
アクティブ・ラーニング	1-(4) フィードバック・アンケート 1-(5) ジャーナル・ライティング 2-(3) プレゼンテーション 2-(5) アンケートやインタビュー 4-(1) 対話型講義 4-(4) 事例研究 5-(1) 学生が協力して行うプロジェクト 5-(2) 実地研修やシミュレーション	卒業要件	必須 (IBM/HTMコース)
一般目標	本講義は、協力企業から提示された課題をもとに、プロジェクト計画書を作成し、調査、課題分析により、本質的な課題を明確にした上で、課題解決策を考察し発表する。PBL (Project Based Learning) によるビジネス実践教育を提供する。 本講義を通して、企業の現場で求められる課題に対してどのように取り組めばよいのか学び、ビジネス実務に必要なスキルの修得を目指す。		
到達目標	社会人として欠かせないロジカルシンキング・クリティカルシンキング、コミュニケーションのスキルを身につける。また、新たなビジネスを創造するために必要となる創造的思考法を実践できるようになる。		
授業の概要	本講義は、教員および協力機関によるレクチャーやフィードバック、グループワーク演習、グループでのプレゼンテーションおよび個人レポートで構成される。 授業では、事前に修得したロジカルシンキング・クリティカルシンキング、コミュニケーションをもとに、社会人の専門家を招聘し実践的な演習を行う。導き出した解決策を協力企業にプレゼンテーションしフィードバックを受ける。		
ディプロマ・ポリシーとの関係	ディプロマポリシーのうち、「1：クリティカル・シンキングをベースとした高度な思考能力を身につけている。」「2：各コースの教育を通じて基礎及び応用知識を身につけ、活用する能力を身につけている。」「3：課題発見及び問題解決能力を身につけている。」「4：情報技術活用能力を身につけている。」に関連		
履修条件・注意事項	マーケティング、現代ビジネス論、ビジネス実務総論1・2、ビジネス実践演習1を必須とする。 経営戦略入門の履修が望ましい		
授業計画	N0	授業の内容	授業外の学習課題
	1	オリエンテーション 授業内容、進め方、到達目標、成績評価方法の説明	事前：ビジネスで求められる資質・能力を復習しておくこと。(90分)
	2	協力企業概要、テーマ説明	事前：企業について事前に調査を行うこと。(90分)
	3	テーマ分析 (現状調査 (外部環境調査))	事前：外部環境調査用の理論を検討すること。(90分)
	4	テーマ分析 (現状調査 (内部環境調査))	事前：内部環境調査用の理論を検討すること。(90分)
	5	仮説立案	事前：テーマ分析した結果を

							もとに仮説立案。(90分)
	6	調査準備					事前：仮説を立証するための調査準備を検討する。(90分)
	7	調査					事前：調査準備内容の確認。(90分)
	8	調査・仮説検証①					事前：調査結果の取りまとめと内容の確認。(90分)
	9	調査・仮説検証②					事前：調査結果の取りまとめと内容の確認。(90分)
	10	解決案構想					事前：検証結果をもとに解決策の検討。(90分)
	11	解決策決定					事前：解決策を比較し解決策の方針検討。(90分)
	12	提案資料作成・まとめ					事前：仮説、解決策の論理的確認と提案内容検討。(90分)
	13	報告会					事前：提案資料の準備、報告内容確認。(90分)
	14	評価・フィードバック					事前：報告内容について自ら評価実施。(90分)
	15	リフレクション					事前：フィードバック結果から自ら振り返り。(90分)
学生に対する評価	試験	小テスト	課題	レポート	発表・実技	授業への参加・意欲	合計
			50%	30%	10%	10%	100%
時間外の学習について	<p>事前学習：90分 事後学習：90分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前学習の共通事項：次回の講義に備えた準備を行うこと。別途課題を指示することがある。 ・事後学習の共通事項：講義の振り返りと次週までの作業を確認・検討すること。 						
テキスト	テキストは、講師が授業中に紹介する。						
参考書・参考資料等							
備考	担当教員は、大手電機メーカー、システムインテグレーターでのエンジニア、プロジェクトマネージャとしての経験、知識を活かし、ビジネス、ICT、データ分析等についての講義を行う。						